

東北学院宗教センター便り

いのち ひかり あい

LIFE

LIGHT

LOVE

2023年

クリスマス号

2023年12月 第7号

東北学院宗教センター発行



- ❖ クリスマスメッセージ
- ❖ 東北学院のクリスマス
- ❖ クリスマスの1曲
- ❖ クリスマスツリーの起源
- ❖ クリスマス礼拝のご案内

戦闘シーンのない「戦場のメリークリスマス」

今年の3月、著名な一人の日本人ミュージシャンが亡くなりました。元 YMO のメンバーで、優れた作曲家でもあった坂本龍一氏です。彼が俳優として出演した 1983 年の上映作品「戦場のメリークリスマス」には彼が作曲した「Merry Christmas, Mr. Lawrence」がテーマ曲に用いられました。この曲はその後も TV の CM 等で繰り返し用いられていますので、生徒や学生の若者世代の方も一度聞けば、どこかで聞き覚えのあるこの曲をきっと思い出せるでしょう。あくまで個人的な意見ですが、坂本龍一氏の最高傑作と言っても過言ではないかもしれません。

この邦画の舞台は太平洋戦争の最中のジャワ島の駐留日本軍の捕虜収容所。そこに収監された一人の捕虜が英国陸軍中佐のローレンス。いわゆる「戦争映画」のはずですが、戦闘シーンのない、日本軍人と外国人捕虜との交流を描いたこの作品は、坂本龍一をはじめ、ビートたけしや英国人歌手のデヴィッド・ボウイが出演するなど、出演者にも注目が集まりました。

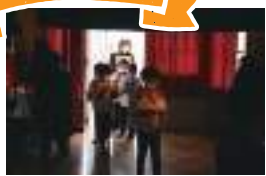
この映画が上映されてから 40 年を迎えた今年、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻が始まってから 2 度目のクリスマスを迎えます。地上では今年に入り、ほんの数か月前に、中東のイスラエルにガザという新たな戦場が生まれました。「地には平和、御心に適う人にあれ」(ルカ 2:14) という、イエスの誕生とクリスマスの到来を告げる「天の大軍」の声は、戦上の砲撃音や悲鳴でかき消されてしまっているかのようです。このクリスマスの季節に、わたしたちは砲撃を積んだ戦車の大軍にではなく、「天の大軍」に加わり、今年も「地には平和」と歌いたいと思います。戦闘シーンのない、神がこの世界に求める、地上の平和の到来を祈り求めています。

宗教センター主任(大学宗教部長) 原田浩司

東北学院のクリスマス

MERRY CHRISTMAS

幼稚園



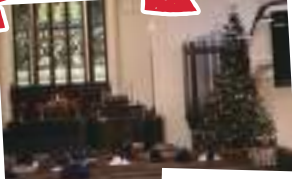
中高



榴ヶ岡



大学



—クリスマスの1曲—

「みんなのクリスマス」

(「クリスマスのうた」 編集/キリスト教保育連盟)

東北学院幼稚園
園長 島内 久美子

毎年、クリスマス礼拝の中で園児が聖誕劇を行っています。この曲は年長児が最後にみんなで歌う曲です。劇の配役は子どもたちの話し合いで決めますが、友達の気持ちを察し、やりたかった役を譲る子どもいれば、どうしても「やりたい!」と話し合いが次の日に及ぶこともあります。そして、難しい言い回しに苦労しながら長い台詞を覚え、一人舞台に立つ緊張に押しつぶされそうになりながらも、「イエス様のために」と頑張って練習を重ねます。

毎年、聖誕劇の終わりに3番までであるこの曲を誇らしげに歌う子ども達の姿に、クリスマスの喜びを歌う子ども達の姿に感動を覚えます。歌詞の中に「…神さま信じる人たちは、祈って待ちますクリスマス…」とあります。この暗い世界において、祈ることが希望であると子どもたちから教えられているような気がします。今年も、子どもと共に神さまの平安があるように祈り、歌いたいと思います。

「キャロルの祭典」

(作曲:ベンジャミン・ブリテン)

東北学院中学校・高等学校
音楽科教諭 鈴木 雅光

私が物心ついた時には家に「よい子のクリスマス」というLPレコードがありました。その中には定番のクリスマスソングや讃美歌、キリスト生誕物語のナレーションが入っていて、それを聴いて育った私はクリスマスに特別な思い入れを持つようになりました。

音楽の教員になってから、どうしてもヨーロッパのクリスマスを見たいと思い、教会巡りをしたことがあるのですが、幸運にもロンドンのセント・ポール大聖堂で専属の聖歌隊が「キャロルの祭典」を歌っている場面に遭遇することができました。少年たちのボーイソプラノの声がドーム型の天井に舞い上がっていく様子は今でも忘れられません。イギリスの作曲家ブリテンが第2次世界大戦中の1942年に作曲した少年合唱とハープのための11曲からなるこの曲には、キリストの生誕に加えて平和への願いが込められています。中でも第6曲「The little babe」が印象的です。

「ああベツレヘムよ」

(讃美歌115番)

東北学院榴ヶ岡高等学校 音楽科教諭 最上 巖

私は牧師の息子として、教会で育ちました。私がまだ小さかったころ、クリスマスイブ礼拝には教会の信徒たちが子どもを連れてきて、大人たちはイブ礼拝に出席し、その間、子どもたちは牧師館でワイワイ遊ぶというのがクリスマスの楽しみの一つでした。

小学低学年のころ、大人たちがイブ礼拝をしている間、外に出て教会の前庭でみんなで雪遊びをしていたとき、礼拝堂の中から讃美歌が聞こえてきました。子供のころから教会にいたので、讃美歌には随分と慣れ親しんでいましたが、その讃美歌は、あまり耳馴染みのない曲でした。歌詞はよく聞き取れませんが、その美しい旋律と和声に、思わず聴き入ったことを覚えています。翌日、父親にその讃美歌のことを尋ね、その曲がクリスマスの讃美歌で「ああベツレヘムよ」という曲だと教えてもらいました。さっそく讃美歌を開きピアノで弾いてみました。静かで、どこか寂し気で、しかし力強さもあり、本当に素敵な曲だと、改めて感動し、大好きな讃美歌になりました。

今でもクリスマスになるとこの讃美歌を歌うことを楽しみにしています。青森の寒い雪の中で聴いた夜のことを思い出しながら。

合奏協奏曲 ト短調 作品6-8

「クリスマス協奏曲」

(作曲:アルカンジェロ・コレリ)

大学宗教主任 田島 卓

大学時代、あまり勉強もせずにオーケストラサークルにのめり込んでいたとき、練習場所のある建物が閉館時間になると流れていた曲が二つあります。一つが、ブラームスの「ハイドンの主題による変奏曲」、もう一つがコレリの「クリスマス協奏曲」です。どちらも大学内の団体の演奏で、何かの演奏会のときに録音したものを流していたのだと思いますが、「クリスマス協奏曲」の方は、大学のクリスマスの燭火礼拝でも演奏されることがありました。大学のクリスマスとはいえ、卒業生や近隣の方もいらっしゃるイベントであり、ヘンデルのメサイアを全員で歌う実に趣深いものですが、その中で献金の際にこの「クリスマス協奏曲」が演奏されていたのでした。コンパクトながらイタリアン・バロックの弦楽器の趣味の良さを凝縮し、蝋燭の灯りに照らされた教会のなかで、壁に嵌め込まれたクリスマスのステンドグラスを辿るかのような構成を持つ作品です。

クリスマスツリーの起源

クリスマスには、もみの木を飾るという習慣は、広く知られていますが、その由来は幾つかの説があり、その中の一つ、ドイツに伝わる伝説を紹介します。

8世紀前半に活躍したアングロ・サクソン出身の宣教師ポニファティウス(ポニフェイス)は、大陸の北の地方に住む人々が、冬至の頃になると山奥で祭りを行っていることを耳にしました。ちょうどクリスマスの夜です。そこでポニファティウスは、その祭りに見に行きました。大勢の村人が集い、その中央に高い樅の木があり、人々は樅の木に宿る「トールの神」を拜んでいたのです。今まさに村長の息子が「トールの神」に捧げられようとしている時でした。

ポニファティウスは、それを見て「今日は、イエス様の誕生日を祝うクリスマスです。トールの神様の日ではありません。樅の木は神様ではありません」と言って、人々の前で、斧で木を切り始めました。それを見ていた人たちは、「トールの神様の雷が落ちるぞ、この人は殺されるぞ」と叫びました。

しばらくすると、樅の木は、切り倒されてしまいました。見ていた人たちは、何事も起きなかったので、びっくりしました。そこでポニファティウスはその木を使って、教会を建てることにしました。かたわらに、小さなもみの木があったので、それを取って、クリスマスの木として飾ったということです。それから、クリスマスには、お祝いに小さなツリーを飾るようになったということです。(『教会メルヘン』より)

宗教センターチャプレン 野村 信

クリスマス礼拝のご案内

公開クリスマス

第1回五橋クリスマス

日時：2023年12月8日(金) 18:30~20:00
場所：東北学院大学 五橋キャンパス 押川記念ホール
詳細：第1部 礼拝 第2部 クリスマスコンサート 第3部 点灯式

第74回公開東北学院クリスマス

日時：2023年12月15日(金) 18:30~20:30
場所：東北学院大学 土樋キャンパス ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
説教者：荒木聡氏(フェリス女学院中学校・高等学校宗教主事)

学内限定クリスマス

大学クリスマス

日時：土樋 2023年12月14日(木) 10:10~10:50
五橋 2023年12月14日(木) 15:00~16:00
説教者：中村慎太牧師(日本基督教団 鎌倉雪ノ下教会)

東北学院職員クリスマス

日時：2023年12月22日(金) 18:30~19:00
説教者：原田浩司教授(大学宗教部長)

中学校・高等学校クリスマス

日程：2023年12月22日(金)
説教者：平賀真理子牧師(日本基督教団 岩沼教会)

榴ヶ岡高等学校クリスマス

日程：2023年12月22日(金)
説教者：中家契介牧師(日本キリスト教会 仙台黒松教会)

幼稚園クリスマス

日程：2023年12月15日(金)
詳細：礼拝及びページェント



LIFE

LIGHT

LOVE

「いのち ひかり あい」第7号

発行：東北学院宗教センター

発行責任者：宗教センター主任 原田 浩司

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1

TEL: 022-354-8310

Email: c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

宗教センター HP→<https://www.tohoku-gakuin.jp/ch/>

